

平成28年度 静岡福祉文化を考える会活動計画

活動テーマ 「静岡発 福祉文化の創造とご近所福祉」

平成28年度は、20年の実績をもとに、新たな節目に向けて、改めて活動の原点に戻り、「福祉を文化にする、静岡発 福祉文化の創造」（豊かに暮らせる身近な地域づくりを日々努力する）とは何かを検証するため、平成27年度に創作実現した「若者発 ご近所福祉かるた」を最大限活用して、県内各地域や各地の各種研修会において、ワークショップ方式等により、意見交換や討論を交えた多様な学習方法を提案し、世代を超えて地域の課題解決に向けた「地域総合型学習」を実践する。

こうした展開を通じて、本会の理念と活動基調をもとに、情報の共有、広報啓発、人的交流、プロセスを重視し、専門性と市民性を融合し、人々が支え合って暮らし合う生活圏域を「ご近所福祉」と捉えて、その生活圏域における「地域課題」を掘り起し問題提起をする取り組みを、「生活会議」と置き換え実践活動に取り組む。

特に、平成28年度においては

- (1) 20年目の節目を乗り越えて、役員改選期（28年度～29年度）にあたり、組織体制を確立し、着実に「福祉文化の創造」に向けた実践活動に取り組む。
＊会長（1） 副会長（2） 事務局長（1） 次長・会計（1） 監事（1） 委員（4）
計10名
- (2) 発展的活動として自主的な活動に移行した「若者発“居場所”あり方研究会」とは、日常的な連携を維持し、これまで本会が課題提起をしてきた「若者の地域参加」をより具体的に実践していくよう呼びかけるとともに、本会の活動に積極的に参画できる環境づくりに努め、協働により、「若者発 ご近所福祉かるた」をより実践的・具体的に活用し「居場所」に関する研究を深めるとともに、地域課題解決に向けた取組みをする。
- (3) 2年目を迎えた、公開型自由研究会集団「共創社会実現研究会」の継続的な活動を通じて、生活圏域における福祉問題解決の実践プログラムとして「生活圏域の地域での福祉文化論議（生活会議）」を創り、「静岡発 ご近所福祉」の確立をめざし「地域総合型学習」の開拓に取り組む。

1. 平成28年度全体会（総会／公開型研修会）の開催

*開催日時 平成28年6月12日（日）13：30～16：30

*開催会場 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館 7階 701会議室

*プログラム（1）報告・説明「静岡福祉文化を考える会 これまでとこれから」

- (2) 公開型研修会 ①実践トーク「新生 若者発“居場所”あり方研究会のこれから」
②実践演習「若者発 ご近所福祉かるた」各地からの反響を踏まえて

2. 委員会の開催

*実務型委員会構成を基に、[代表] [副代表] [事務局長・次長] [会計] [監事] [委員]
[会員] が一丸となって、活動の進捗状況管理と検証に努める。

- * 2年目を迎えた公開型自由参加研究会「共創社会実現研究会」を継続的に設置し、「ご近所福祉かるたの有効活用の研究」と「若者発 居場所あり方研究会の支援」「ご近所福祉を探る」等の研究協議に取り組む。
- *原則、月1回「公開型学習会&委員会」として開催し、広く会員や県民の参加を呼び掛ける。

- ・第176回 4月23日（土）13:30 静岡市清水区「寄ってつ亭」
- ・第177回 6月12日（日）10:30 静岡市葵区駿府町「県総合社会福祉会館」7階701
- ・第178回 8月7日（日）10:30 静岡市葵区駿府町「県総合社会福祉会館」1階103
- ・第179回 10月2日（日）10:30 静岡市清水区「寄ってつ亭」
- ・第180回 12月4日（日）13:30 静岡市清水区「寄ってつ亭」
- ・第181回 2月19日（日）10:30 静岡市葵区駿府町「県総合社会福祉会館」1階103

3. 実践活動として、「若者発 ご近所福祉かるた」の有効活用による「ご近所福祉」の検証

7年間の県委託事業「一人でも安心して暮らせる地域づくり事業」から浮き彫りになった“ご近所福祉の再構築”を若者の視点から論議を深め、提言された読み札を精査し、「若者発“居場所”あり方研究会」「共創社会実現研究会」の全面的な支援のもとに「かるた」の創作に取り組み、平成27年度に「若者発 ご近所福祉かるた」を100セット作成した。

今年度は、特に「若者発“居場所”あり方研究会」が積極的に地域で「かるた」の活用に取り組むことを期待するとともに、様々な活動状況を本会に情報提供していただき「ご近所福祉」や「地域ぐるみの居場所」を検証する。

また、「かるた」を幼児から大人まで、身近な地域の実践活動の場や行事中で、「地域総合型学習」として楽しみながら活用し、安心して暮らし合う生活圏域づくりをめざす働きかけをする。

会員をはじめ、関係機関・団体・個人、各研究会会員、施設・グループ・サロン等に配布・設置した100セットの「かるた」の活用状況報告を、「共創社会実現研究会」や「若者発“居場所”あり方研究会」と共に検証し課題を整理し、地域社会の問題提起をしていく。

(1) 「自主的共創社会実現研究会」の 開催

2年目を迎えた公開型自由参加研究会「共創社会実現研究会」の参加を広く県民に呼びかけ、これまでの実績をもとに、議論を深め合い、生活圏域における福祉問題解決に向けた実践プログラムとして「地域総合型学習」（地域人財育成）や「ご近所福祉」の検証、「世代を超えたコミュニティ構築と若者の地域デビュー」を議論する場として、本会定例委員会と連動して、年6回開催する。

- ・第1回 4月23日（土）13:30 静岡市清水区「寄ってつ亭」
- ・第2回 6月12日（日）10:30 静岡市葵区駿府町「県総合社会福祉会館」7階701
- ・第3回 8月7日（日）10:30 静岡市葵区駿府町「県総合社会福祉会館」1階103
- ・第4回 10月2日（日）10:30 静岡市清水区「寄ってつ亭」
- ・第5回 12月4日（日）13:30 静岡市清水区「寄ってつ亭」

・第6回 2月19日（日）10:30静岡市葵区駿府町「県総合社会福祉会館」1階103

（2）「若者発 居場所あり方研究会」との連携と協働の呼び掛けと実践

本会から、自主的活動に発展した「若者発 居場所あり方研究会」との連携を維持し、協働による福祉文化実践活動（本会主催の各種研修会・事業への参加呼び掛け）が出来るように、情報を共有（定例委員会への参加呼び掛け）し、「ご近所福祉」「地域ぐるみの居場所」に関わる研究協議の場をその都度設定できるように努力する。

4. 啓発学習活動

「生活圏域の地域での福祉文化論議（生活会議）」の取り組みを「公開型研修会」「公開型学習会」として開催する。

（1）公開型学習会の開催

「定例委員会」（年6回）を「公開型学習会」と位置づけ、誰でも自由に参加できることを呼び掛け、市民・会員相互の情報交換の場及び日常的な実践活動につなげる。

（4/23、6/12、8/7、10/2、12/4、2/19）

（2）公開型研修会の開催

できる限り、小地域の生活圏域で地域の課題解決に向けた話し合いの場を創り「生活圏域の地域での福祉文化論議（生活会議）」の取り組みを「ご近所福祉」と置き換えて、自由に県民が参加できる「公開型研修会」を開催する。

○第1回 6月12日（日） 13：30 静岡県総合社会福祉会館 7階 701会議室
研修テーマ『福祉文化実践のプロセス 一若者発ご近所福祉を語り合うー』

- ①基調報告「これまでとこれから 福祉文化活動の道程」
- ②実践報告「若者発“居場所”あり方研究会新たな挑戦」
- ③全体トーク「若者発 ご近所福祉かるたで交流」

○第2回 8月 7日（日） 13：30 静岡県総合社会福祉会館 1階 103会議室
研修テーマ『いかに地域性を發揮したご近所福祉を創るか』

- ①公開トーク「ご近所福祉あれこれ」
- ②グループワーク「若者発 ご近所福祉かるたからの議論展開ーその①ー」

○第3回 2月19日（日） 13：30 県総合福祉会館1階103会議室

研修テーマ『静岡発 福祉文化の創造とご近所福祉を総括する』

- ①基調報告「この一年 福祉文化実践活動とご近所福祉を振り返る」
- ②グループワーク「若者発 ご近所福祉かるたからの議論展開ーその②ー」

(3) 「第15回静岡県福祉文化研究セミナー」の開催

*日 時 10月 2日（日） 13：30～16：30

*会 場 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館 6階602会議室

*テーマ 『静岡発 福祉文化の創造と豊かなご近所福祉づくり』

①基調報告 その1「福祉文化研究セミナー15年の道程」

②基調報告 その2「ご近所福祉その意識と実態からの学び」

③ワークショップ「ご近所福祉若者と大人の言い分あれこれ」

5. 調査研究活動

*テーマ『ご近所福祉その意識と実態調査』の実施

*ねらい

「静岡福祉文化を考える会」は、この20年間「静岡発 福祉文化の創造」を目指した実践活動の大きな柱立ての一つに、その時代の地域社会を取り巻く様々な福祉課題を「調査テーマ」にした

「調査研究活動」に取り組み、その分析結果を、県内各方面での研修会や本会の公開型研修会など

で公表し、世代を超えた「地域総合型学習」を通じて問題提起をし、県民一人ひとりの意識改革に

努めてきた。

これまでの調査研究活動を振り返ると、

※平成 9年度 ①「共働きに関する調査」

※平成 10年度 ②「私たちにとって、地域とは何かーその1－意識と実態調査」

※平成 11年度 ③「私たちにとって家族とはなにか調査」

※平成 12年度 ④「父親に関する調査」

※平成 13年度 ⑤「ボランティア活動実践者意識調査」

※平成 14年度 ⑥「大人を対象とした生きがいと就労に関する意識調査」

※平成 15年度 ⑦「青少年の生きがいに関する調査」

※平成 16年度 ⑧「地域とはなにかーその2－意識と実態調査」

※平成 17年度 ⑨「子どもと社会環境に関する調査」（継続調査）

※平成 18年度 ⑩「子どもと社会環境に関する調査」（総括）

※平成 19年度 ⑪「地域活動と団塊の世代の役割に関する意識調査」

※平成 20年度 ⑫「長寿者の生きがい、その意識と実態に関する調査」

（静岡県共同募金会助成事業）

⑬「日常生活と福祉情報に関する調査」（静岡県委託事業）

※平成 21年度 ⑭「長寿社会に関する県民意識と実態調査」（静岡県委託事業）

※平成 22年度 ⑮「いまこそ地域社会に福祉文化を拓く 生活圏域における支え合いとはなにか本音に迫る調査」（静岡県委託事業）

※平成 23年度 ⑯「地域と私の居場所その意識と実態調査」（静岡県委託事業）

※平成 24年度 ⑰「家族ってなに その意識と実態調査」（静岡県委託事業）

※平成 25 年度 ⑯「長寿者とつながる ホッとするご近所づくりその意識と実態調査」

(静岡県委託事業)

※平成 26 年度 ⑰「豊かに暮らせる地域づくりその意識と実態調査」(静岡県委託事業)

※平成 27 年度 ⑱「若者の地域参加その意識と実態調査」

と、「20のテーマ」の調査研究活動に取り組んできた。特に、平成20年度～平成26年度の7年間は、静岡県委託事業「一人でも安心して暮らせる地域づくり事業」に取り組み、平成27年度は、これまでの20年間の福祉文化実践活動のプロセス重視の視点から浮き彫りになった「若者の存在と地域参加の期待」に焦点をあて、巻く状況を問い合わせとともに、大人社会が若者の役割をしっかりと受け止め、自ら若者が地域参加できる環境をいかに切り拓くか、若者の参画をもとに、地域の課題解決に活かすために取り組んだ。こうした実績をさらに深め、通算21回目となる今年度は、これまでの展開を継承しつつ、「若者発 ご近所福祉かるた」の活用を通して各領域からいただいた意見をもとに「ご近所福祉その意識と実態調査」として、200名程度の規模で実施。

調査項目は、(1)基本属性(2)ご近所の住民の生活状況 (3)ご近所との関わりの意識 (4)ご近所との関わりの実態 (5)ご近所を取り巻く望ましい地域環境 (6)ご近所の仕組み (7)提言(自由意見)の7項目とする。

調査の展開は、調査実施期間 6月～8月、入力期間 9月～10月

分析・考察 11月～12月 公表・報告 2月までに実施

6. 広報・啓発活動

(1) 「機関紙発行計画」に基づき『OUR LIFE』の発行

*年4回 A4版 4ページ構成 上質紙印刷 200部発行

*各号共通記事「コラム」「事務局日誌拝見」「編集後記」

- ・第104号(4/1) 「若者発 ご近所福祉かるた」で地域づくりに挑戦
- ・第105号(8/30) 「5/31公開型研修会からの学び」
- ・第106号(12/15) 「第15回福祉文化研究セミナーからの学び」
- ・第107号(3/15) 「この21年間を振り返る」

*毎号、各地区から寄せられた「若者発 ご近所福祉かるた」の取り組みの紹介と「若者発“居場所”あり方研究会」の活動レポート紹介、「共創社会実現研究会」議論等を掲載する

(2)マスコミ、関連団体への情報提供

7. 関係・団体等との連携

(1) 「若者発 ご近所福祉かるた」設置団体等との日常的連携(施設、NPO法人、Vグループ)

- (2) あしたの日本を創る協会との連携
- (3) 日本福祉文化学会との情報交換
- (4) 関連大学・専門学校

(5) 社会教育領域

(6) 静岡市ボランティア連絡協議会

(7) 県内地域福祉活動実践団体・地域・NPO法人との連携